

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	涙点腫瘍患者における涙三角の高さの比較
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	涙点腫瘍は比較的まれな腫瘍で、涙の排水口である涙点に形成される腫瘍を指します。涙点腫瘍は涙道閉塞を起こしうりますが、これまでに涙道閉塞を起こした涙点腫瘍の報告はあまり多くありません。涙三角の高さは眼表面の涙液量を推定する指標の一つで、高い場合に涙道閉塞が疑われます。本研究では、涙点腫瘍患者さんにおける涙三角の高さを患側と健側で比較することを目的とします。
対象となる患者さん	2017年10月から2018年12月までに涙点腫瘍の精査・治療目的で、当科を受診された患者さん。
研究の方法	光干渉断層計を用いて測定した涙三角の高さを患側と健側で比較します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2020年7月31日
研究に用いる試料・情報	診療情報、OCT画像、涙道内視鏡検査結果、病理検査結果
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	なし
問い合わせ先	愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 12314)